

エンジニアと地域の『あたらしい繋がり方』

地域ICTクラブ地域交流会in静岡
2023.02.06

自己紹介（企業人として）



大橋 衛（オオハシ マモル）

KDDIアジャイル開発センター株式会社
三島サテライト オフィス長 兼
KDDI CCoEリード

アプリエンジニア12年
インフラエンジニア4年
クラウドエンジニア10年
地域エンジニア活性 1年目 ← 今ここ

三島市在住テレワーカー
週2日は東京に通う多拠点活動エンジニア



自己紹介（企業人として）

CCoE
ベストプラクティス

DX

Cloud Center of Excellence

活用推進ガイド

成功に導く

及川卓也 推薦!

クラウドを活用した企業変革には
リニア・ビジネス・モデルを備えた
CCoEが必要だ!

チェックリスト

クラウド環境の設計と実装を効果的に進める

先駆者に学ぶ

DXのはじめ方

DX診断付き!
現在地把握から推進の経験者の秘訣とは

4.8 Fri 13:00-15:00

主催: SNT株式会社協力: Japacur Japan Google Cloud Efor Grimmer Enterprise

先着200名様に
書籍プレゼント!

デジタルクラウド
ジャパン合同会社
編著 大橋 貴一

KDDI株式会社
大橋 貴一

中級

CCoEの現状と課題。 立ち上げに必要な ポイントとは?

Google Cloud
Next

見る YouTube



MELTOPIA

経営基盤を強化するIT戦略

最新のITトレンド、ITスキルと知識の他、
一歩先の未来を、サービス開発、導入事例をお見せします。



大企業のクラウド活用推進は
地道な活動の積み重ね

KDDI株式会社
DX推進本部 ソフトウェア技術部
エキスパート
大橋 貴一

数年にわたって蓄積したインプレミスのシステムをクラウドに置き換え、さらにクラウドネイティブな
ものにするのは容易なことではありません。こうした複雑なDXの推進にはどのような方法が
必要なのでしょうか。KDDIは日本企業の中でも早くからクラウド活用を推進してきた存在として
知られています。ここではKDDIのDXでとりくむためのポイントをご紹介します。



KDDI CCoE 大橋



COVID 19

自己紹介（いち市民として）



ホーム > 住まい・環境 > 住宅・土地 > 三島市移住アンバサダーをご紹介します！

三島市移住アンバサダーを紹介します！

「三島市移住アンバサダー」は、移住に役立つ情報はもちろん、三島での日常を移住者目線から発信します。それぞれのSNSアカウントで#三島市移住をつけて発信していますので、ぜひチェックしてみてください。

三島市移住アンバサダー 紹介



大橋南さん (Twitter・Facebook・note)

沼津市出身。2015年に両親祖母と同居するため新居を建て三島にリターン移住。都内IT企業に務める二児の父。コロナ禍で週5通勤通勤がフルリモートワークとなり三島との繋がりが一気に三島LOVERSに。現在も三島と都内の両方を行き来しながら仕事している。三島の好きなところは水と自然と街が寛事に調和しているところ。

朝日新聞 DIGITAL

ウクライナ情勢 W杯 コロナ 速報 朝刊 夕刊 連載 ランキング

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能

朝日新聞デジタル > 記事

移住希望地ナンバー1の静岡県、その秘訣とは？ カギは「発信力」

有科記事

南島信也 2022年6月7日 12時06分



豊岡武士・三島市長（右から2人目）から新たに移住アンバサダーに任命された3人＝2022年6月6日午後2時41分、三島市役所、南島信也撮影



移住希望地ランキングで2年連続日本一の静岡県。なかでも市町別で県内1位となった三島市の人気が急上昇している。交通利便性が高く、自然豊かな点などが理由とされてきたが、人気の秘密はそれだけではなかった。人生の大きな決断の背景には、SNSで情報を発信する先輩移住者の存在があった。

都市住民向けに移住相談や情報提供を行うNPO法人「ふるさと回帰支援センター」（東京都千代田区）によると、



三島市に移住して8年目 / コロナ禍でフルテレワークになり地元愛に目覚める

(個人)みしま日帰りワーケーション体験ツアー



ITエンジニアを三島に
連れてきて仕事&遊ぶ





観光庁について



政策について



委員会・審議会等



統計情報・白書



予算・調達情報



報道・会見

報道・会見

[観光庁ホーム](#) > [報道・会見](#) > [トピックス](#) > [2022年](#) > 「ワーケーション推進事業」企業と地域によるモデル実証事業の公募について

「ワーケーション推進事業」企業と地域によるモデル実証事業の公募について

印刷用ページ

最終更新日：2022年6月17日

- ・アジャイルとワーケーションの親和性を評価
- ・ワーケーションルールを作る
- ・地域在住エンジニア活用の糸口を探る

従来の「
や密が生
このよ
ン※等へ
ワーケ
をはじめ
こうし
企業と地
の参画を

※「Work」と「Vacation」を組み合わせて造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をし、自分の時間も過ごすこと。

報道・会見

報道発表

会見関係

トピックス

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

ワーケーションモデル事業スケジュール

大項目	小項目	取組内容	連携組織・事業者名	令和4年												令和5年								
				8月		9月		10月		11月		12月		1月			2月			3月				
				中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
0	全体																							
	0-1	中間報告																						
	0-2	事業報告																						
1	トライアルプログラム①：地域課題の発見																							
	1-1	ワーケーションコンテンツ造成、磨き上げ	三島市スマートシティ推進協議会 シタテ																					
	1-2	トライアルプログラム内容の詳細検討																						
	1-3	トライアルプログラム①実施																						
2	トライアルプログラム②：地域課題の深堀																							
	2-1	ワーケーションコンテンツ造成、磨き上げ	三島市スマートシティ推進協議会 シタテ																					
	2-2	トライアルプログラム内容の詳細検討																						
	2-3	トライアルプログラム①実施																						
3	トライアルプログラム③：地域課題の解決案　ハッカソン開催																							
	3-1	ワーケーションコンテンツ造成、磨き上げ	三島市スマートシティ推進協議会 シタテ																					
	3-2	トライアルプログラム内容の詳細検討																						
	3-3	トライアルプログラム①実施		GeolocationTechnology																				
4	情報発信																							
	4-1	ホームページ、SNS、広報誌等への掲載																						
	4-2	記者提供																						

1st Trial 2022/10/05(水) ~ 2022/10/08(土)

2nd Trial 2022/12/07(水) ~ 2022/12/10(土)

3rd Trial 2023/01/21(土) ~ 2023/01/25(水)

2023/1/23 プレスリリース：舞鶴市と三島市に拠点を同時開設

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

KDDIアジャイル開発センター株式会社が舞鶴市と三島市に拠点を同時開設

地域振興の観点に立った雇用の創出、DX人材の育成とワーケーションの推進

[KDDIアジャイル開発センター株式会社](#)

🕒 2023年1月23日 11時00分



2023年1月20日、KDDIアジャイル開発センター株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木暮 圭一、以下KAG）は、京都府舞鶴市（舞鶴赤れんがパーク）、静岡県三島市（Work:well三島）に拠点を同時開設しました。

■拠点開設の目的

〇地域振興の観点に立った雇用の創出

就労場所を求めて大都市に移住してしまう傾向のある社会人や学生のみならず、地方で働くことができる拠点をすることで、Iターン・Uターンを含めた雇用の創出します。KAG社はフルテレワーク制度を導入しており、より自由度の高い働き方を選択いただけます。

また現地に在住しているKAG社員が、市政の課題にも取り組むことで、地元に貢献できる業務に従事できるよう推進します。

■京都府 舞鶴市との取り組みについて

KDDIは平成30年12月19日に舞鶴市、独立行政法人国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校と3者で地域活性化を目的とした連携に関する協定書を締結し、防災モニタリング、スマート農業やスマート漁業に取り組んでおり、今回それを発展させる形でKAGと舞鶴市は地域活動に関する覚書を締結致します。



■静岡県 三島市との取り組みについて

KAGは観光庁が推進する「ワーケーション推進事業（企業と地域によるモデル実証事業）」に採択され、2022年10月から三島市とワーケーション実証実験（全3回）を行っております。拠点開設に伴い、KAGと三島市は地域活動に関する覚書を締結致します。



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000115171.html>

2023/1/24 LtG StartUp Studioとの連携合意書を締結

LtG StartupStudio

HOME ABOUT PROGRAM FOUNDER ADVISER PITCH CONTEST INFORMATION

【お知らせ】 LtG Startup Studio×KDDI アジャイル開発センター パートナーシ ップ締結！

プレスリリース



LtG Startup StudioはLocal to Globalを目指し、若い人材のチャレンジできる場を創出し、支援をしております。



<https://www.ltg-startupstudio.jp/post/【お知らせ】LtG Startup Studio×KDDIアジャイル開発センター パートナーシップ締結！>

オフィス設置で 三島市が覚書

都内企業と

ソフトウェア開発の
KDDIエアジャイル開
発センター(東京)は
このほど、三島市とオ
フィスの設置に関する
覚書を交わし、同市芝
本町にサテライトオフ
イスを開設した。起業
家の発掘、支援を行う
LtoGスタートアップ
スタジオ(同市大社町)
とも連携し、新たなビ
ジネスへの挑戦をサポ
ートする。

覚書では積極的な雇
用と人材確保、IT人
材の育成で同社と市が
協力し、地域活性化に
向けた円滑な事業活動
を図る一などと定め
た。LtoGスタジオの
起業家に対しては、ア
イデアを具現化する
アプリやツールを提案
するなどして事業化
を後押しする。ワーケ
ーションイベントも開
催し、サテライトオフ



豊岡市長(右)と覚書を交わす企業の関係者
＝三島市

イスを中心に三島の関
係人口拡大にも努め
る。

このほか、同社はワ
ーケーション検索サー
ビス「タビトシゴト」
を開始し、各地の滞在
先で仕事しやすいよ
う事前に通信環境など
の設備やワーケーショ
ンの体験記などの情報
を提供する。

新型コロナ関連

26日

裾野の小学校臨時休校
裾野市は27日、複数の
学年で感染が広がってい
る小学校1校を臨時休校
する。

写真提供 掲載料 無料

掲載写真は、希望者に有料で提
供します。問い合わせ・申し込み
は読者ホットラインハフリーズ
ヤル(0120)439817、月
～金曜日の午前9時～午後5時
へ。※肖像権などにより提供でき
ない写真があります。

『エンジニアがリスペクトされる国と業界を創る』

- 首都圏依存型のICT市場に破壊的創造をもたらす
- 近視眼からの解放/越境体験の誘発
- 自らのスキルが社会貢献に直結できることを知る
- エンジニアの地域格差を限りなくゼロに近づける

エンジニアと地域の **あたらしい繋がり方** を創出すべき

エンジニア＋ワーケーションの市場ごと創り出す

PRTIMES

プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPRTIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

KDDIアジャイル開発センター株式会社がワーケーション検索サービス「タビトシゴト」を発表

エンジニアのワーケーション需要について実証実験を開始

KDDIアジャイル開発センター株式会社

🕒 2023年1月20日 17時00分



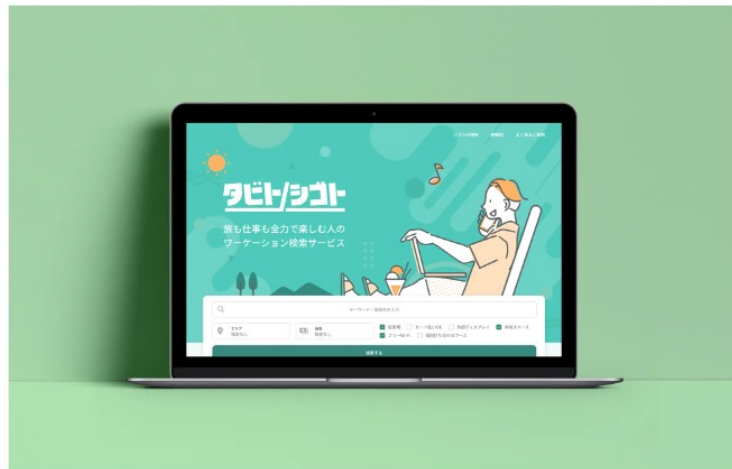
<背景>

エンジニアのリモートワークが普及し、オフィス以外の場所でも仕事ができる環境が整ってきました。その中で、リフレッシュをしながら仕事をしたり、チームビルディングを促進したりと、より自由度の高いワークスタイルの促進にワーケーションの活用が期待されています。

また、ワーケーションを活用し日本全国どこにいても仕事ができるようになることで、地方創生の活性化への期待も持たれています。

しかし、滞在先で普段と変わらない業務をこなせるのか、仕事と休暇のバランスをどのようにするのかなどの懸念や不安も上がっており、なかなかワーケーションに踏み切れない人も多いという実情があります。

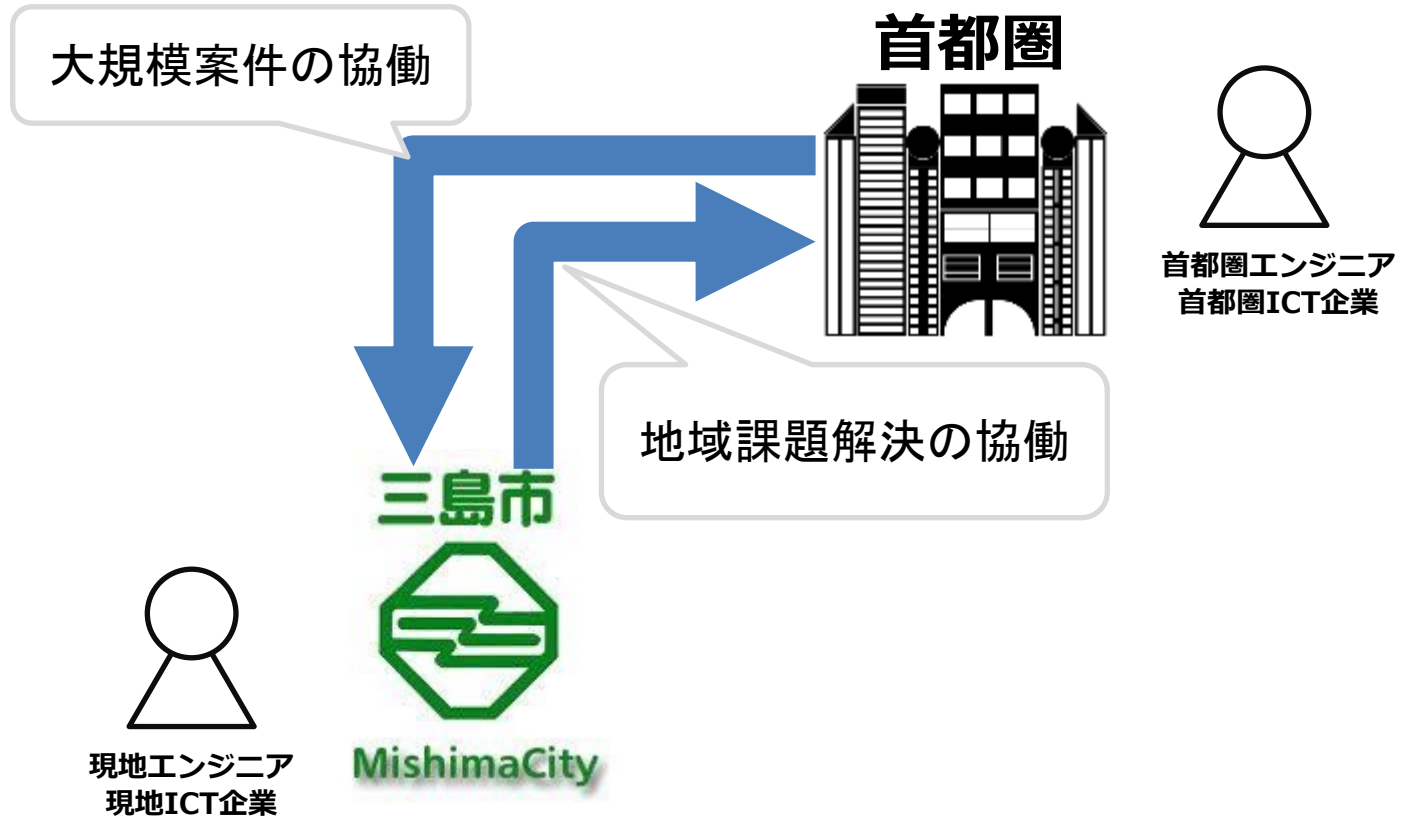
<ワーケーション検索サービス「タビトシゴト」概要>



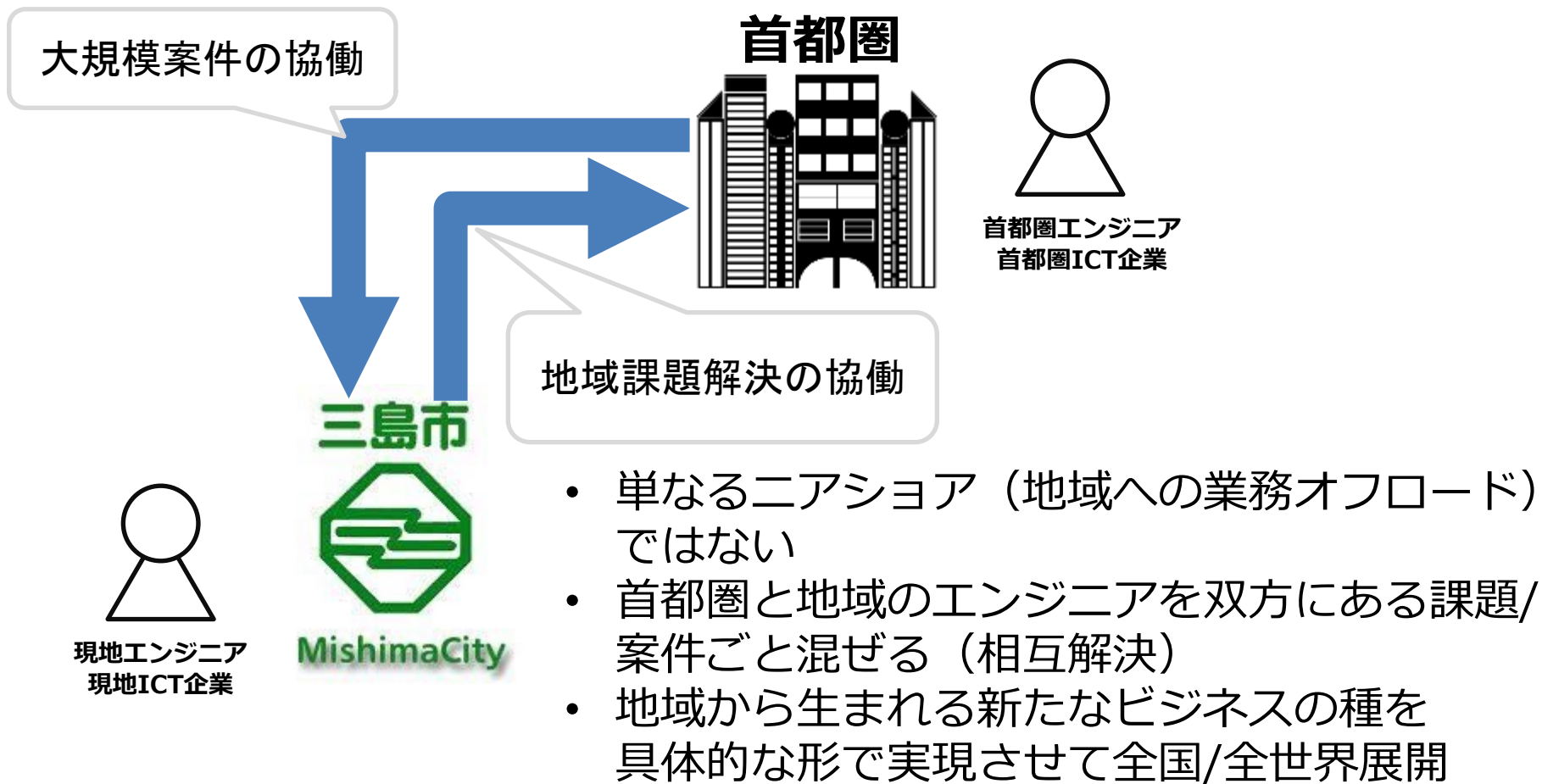
「タビトシゴト」は、旅も仕事も全力で楽しむ人のためのワーケーション検索サービスです。宿泊する施設の環境や設備情報、滞在先のワークスポットなどしっかりと仕事を行うために必要な情報を提供し、ユーザーがワーケーションを実施する際に具体的なイメージを掴むサポートすることで、ユーザーの不安を軽減、よりワーケーションを行いやすくすることを目的としています。

- このサービス自体も全国に散らばったメンバーでフルリモート開発
- 自らがワーケーションを推進し市場を牽引
- ワーケーション市場の活性化で地域とエンジニアを繋ぐ

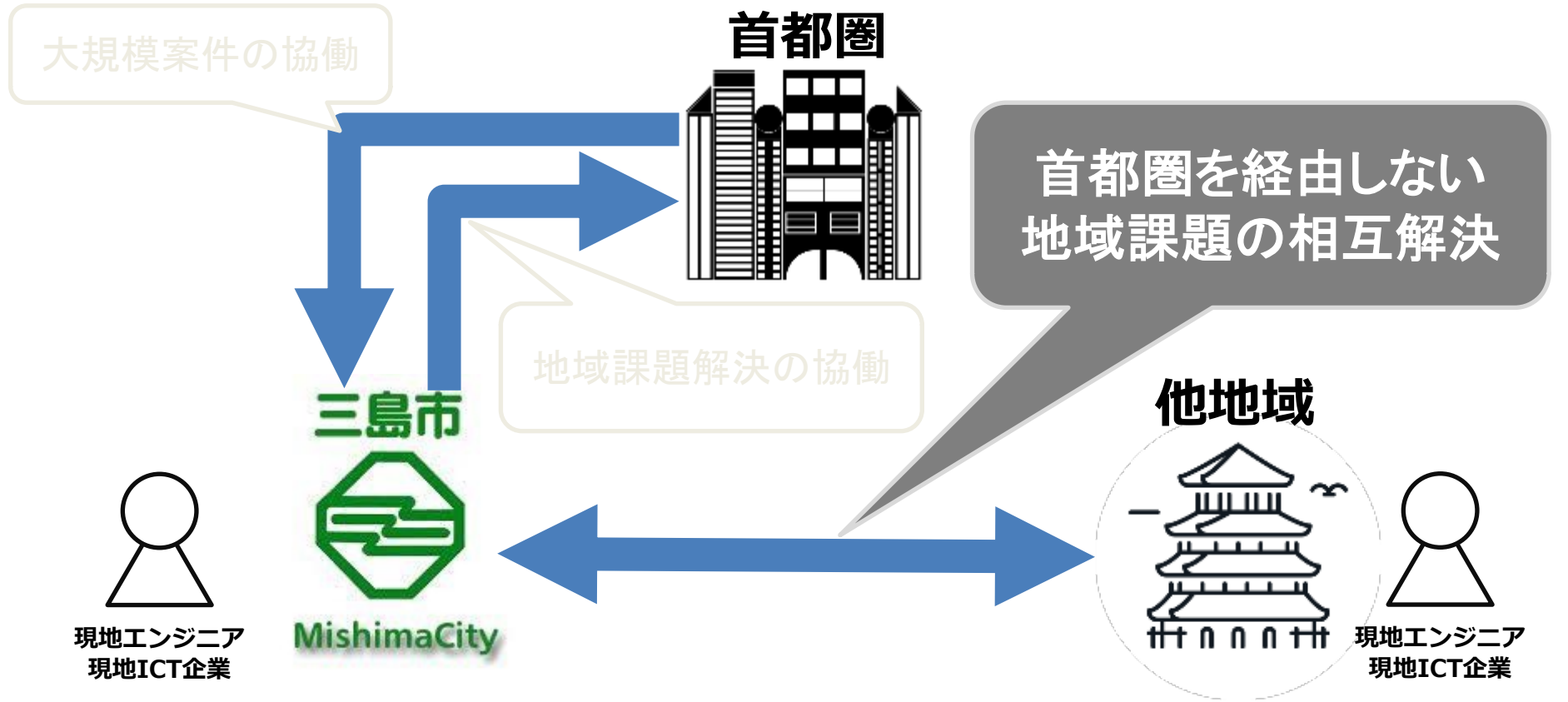
KAG社が目指す「地域在住エンジニアの活性化」



KAG社が目指す「地域在住エンジニアの活性化」



KAG社が目指す「地域在住エンジニアの活性化」



地域課題を地域間で相互解決可能な**DX連携体制の確立**

KAG社が目指す「地域在住エンジニアの活性化」

